

- ・1講習(6時間)あたり受講料6,000円です。
- ・小・中・高・特支・幼稚園・認定こども園などすべての先生方が受講の対象です。
- ・詳しい申し込み方法や講座内容につきましては、ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください(<https://aises.info/menkyo2/>)。
- ・講座領域の「選択必修または選択」については、お申込み時にどちらかお選びいただく必要がございます。

◎2020年4~8月期の仮申し込み期間：～2020年7月26日(日)17:00<速報!申込期間延長!詳細は裏面です。>

申し込みいただける講座一覧

◎2020年9~12月期の仮申し込み期間：2020年8月1日(土)10:00～

No	講座領域	テーマ	講座概要	講師
1	必修	教育の最新事情-これからの時代を生き抜く子どもを育てる	変化の激しい社会、AI時代の到来、人生100歳時代など、目の前の子どもに2030年を生き抜く力を育てることが、学校教育に期待されたミッションとなっています。日本版包括的生徒指導マルチレベルアプローチを学校現場で指導してきたプロジェクトチームの講師が海外の先進国の知見を交えて、これからの日本の学校教育のあり方を豊富な実践事例を交えながら分かりやすく解説します。	栗原 慎二(広島大学大学院 教育学研究科教授) 金山 健一(神戸親和女子大学大学院 文学研究科教授)
2	選択必修 または選択	幼児教育に携わる先生のために一人一人を大切に保育の推進 ～幼児期の特別支援教育～	幼児期は個人差がとても大きい時期です。また子どもを取り巻く環境や社会の変化に伴い、幼児教育現場では気になる子ども、苦戦している子どもが増えています。子どもたち一人一人の発達に寄り添いながら、多様な視点から幼児を理解し、成長を育む保育やチーム支援の在り方について学びます。幼稚園、小学校両方の現場経験豊富な講師が演習を交えながらわかりやすく講義を進めます。	佐藤 博子(元全国国立幼稚園・こども園長会副会長 元新潟市教育相談センター所長 相談員(現職))
3	選択必修 または選択	幼児教育等に携わる先生のための保護者と園との 「共育」を目指す子育ての支援	子どもたちの健やかな成長のためには、園と保護者が連携して共に子育てに向かう姿勢が大切です。しかし、社会の状況や様々な家庭環境を背景に孤立した子育てが行われ、保護者が育児不安を抱える現状が見られます。保護者・保育者・関係機関がつながりながら進める子育て支援の実現と園の役割について、受講者とともに考えます。本講座は、幼小連携の観点から小学校教諭・養護教諭も対象とします。	佐藤 博子(元全国国立幼稚園・こども園長会副会長 元新潟市教育相談センター所長 相談員(現職))
4	選択必修 または選択	今求められる幼児教育と小学校教育の接続	近年、学校を巡る状況は複雑に変化しており校種間連携及び接続が重要視されています。とりわけ幼児教育と小学校教育の接続は、今求められている大きな課題です。新幼稚園教育要領に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を身につけさせる過程において、愛着や発達に課題を抱えた子どもへの組織的対応について事例を通して理解を深めます。幼小接続の一層の推進と具現化について受講者と一緒に検討し合い、学び合います。	佐藤 博子(元全国国立幼稚園・こども園長会副会長 元新潟市教育相談センター所長 相談員(現職))
5	選択必修 または選択	子どもの発達と愛着―肯定的関わりスキル	自信がない子、信頼を築くのが難しい子が増えていますか。このような子どもの背景には、発達や愛着に課題を抱えていることがあります。発達心理学を生かした子ども理解や、発達障害・愛着障害について解説し、具体的な対応のあり方を事例を通して演習します。子どもの愛着形成や発達のプロセスの視点をもって、いじめや不登校などを生まない集団づくりについて学べる講座です。	栗原 慎二(広島大学大学院 教育学研究科教授) 山崎 茜(広島大学大学院教育学研究科教職開発講座 講師)
6	選択必修 または選択	子どもを育てるPBIS―開発的積極的生徒指導の実践―	PBIS(望ましい行動への介入とサポート)は、学校や学年、あるいは学級で比較的容易に実践できる積極的な生徒指導の手法です。望ましい行動を増やし、規範意識を育てることにつながる手法で、高い教育効果が実証されています。これを日本の学校教育に合わせて効果的に導入し、日常の教育活動に活かすにはどのような方法がよいのかを具体的に解説します。日本の実践例も紹介し、導入をイメージしやすいよう構成しています。	栗原 慎二(広島大学大学院 教育学研究科教授)
7	選択必修 または選択	キャリア教育の視点を生かした主体的・対話的に深く学び合う子どもの育成	対話的な学びを支える「傾聴・質問・承認」の対話スキル(コーチング)を基盤に①授業における対話とは何か、②なぜ、「主体的・対話的で深い学び」が必要なのか、③グローバルな視点から見た教育の価値観と目的、④授業改善の中核である協同学習の原理と技法、⑤授業改善の導入方法と校内体制づくりのポイント、これらを学び合いながら、キャリア教育の目標である「生きる力」を育む視点と技法の獲得を目指します。	鈴木 建生(ユマニテック短期大学 学長)
8	選択必修 または選択	今日からすぐ使える集団づくり・学級経営―ピア・サポートの視点を踏まえて	学校改革に定評のある講師による「すぐに使える学級づくりテクニック講座」です。子どもの心をとらえる集団づくり、個を成長させる集団育成の具体的な方法、学級経営のコツ満載の講座です。ピアサポートとは、人間関係づくりや学級経営に最も有効なプログラムです。生徒との信頼関係づくり、年間を通した集団育成のプロセスや原理を楽しくわかりやすく解説します。	栗原 慎二(広島大学大学院 教育学研究科教授) 金山 健一(神戸親和女子大学大学院 文学研究科教授)
9	選択必修 または選択	コミュニケーション力を育てる感情の学習 ―社会性と情動の学習(SEL)の実践―	「空気が読めない」「すぐ切れる」といった感情にかかわる問題を抱えた幼児・児童生徒が増えています。本講座では、こうした子どもたちへの対応に苦慮されている先生方のために、世界ではすでに広く実践され、成果も実証されている「社会性と情動の学習(SEL)」をご紹介します。講師は、全国各地の幼稚園、学校で高い評価と実績がある講師陣です。明日からすぐに使えるミニ演習や楽しみながら感情について学べる実践を紹介いたします。	栗原 慎二(広島大学大学院 教育学研究科教授)
10	選択必修 または選択	やってみよう!ピアサポート<トレーニング編>	多くの学校現場と協働し実際に不登校や非行の問題を解決してきた講師が、コミュニケーションや課題解決の方法などの授業の進め方やポイントをたのしく解説します。学習指導要領改訂の方向性を踏まえ、「友達同士で支え合い、主体的に課題を解決すること」「自分の所属するコミュニティに寄与すること」そして「思いやりあふれる学校風土の醸成」をねらったピアサポートプログラムについて学びます。	栗原 慎二(広島大学大学院 教育学研究科教授)

【目的別おすすめテーマ】

- こども園・幼稚園の先生方おすすめ
- 特別支援教育に関心のある方おすすめ
- 生徒指導・教育相談全般に関心のある方おすすめ
- 専門的に学びたい方おすすめ

No	講座領域	テーマ	講座概要	講師
11	選択必修 または選択	学級経営と保護者対応	幼児・児童生徒の基本的欲求である交流の欲求を満たす良質のコミュニケーションの場を学級経営に組み込むことにより、幼児・児童生徒相互のソーシャルバンドを構築され、不登校やいじめの未然防止につながるなど、幼児・児童生徒に対する支援や学級経営のあり方について実践例を元に解説する。また、保護者の意識分析を元に、保護者の置かれている状況を理解し面談にどう生かすか、面接事例を通じて解説する。	栗原 慎二(広島大学大学院 教育学研究科教授)
12	選択必修 または選択	様々な課題解決のための組織的対応のあり方	今後の「チーム学校」の動きを踏まえ、課題を抱える幼児・児童・生徒、家庭を支えていくために、様々な立場の専門家が協働し、機能する方策について検討する。また、教職員間での判断や方針の共通理解の在り方や、組織体制づくり、校務分掌の明確化や全校(園)システムの確立、校内研修等について、包括的な観点から解説し、生徒指導の組織・体制の考え方の観点から、問題行動等への対応として有効なチーム支援の進め方を事例をもとに考察する。	栗原 慎二(広島大学大学院 教育学研究科教授)
13	選択必修 または選択	養護教諭が行うアセスメント	保健室は身体的不調を訴えれば、誰もが気軽に利用できる場所です。そのため、保健室には、様々な課題を抱えた児童生徒が訪れます。病氣やけがばかりではなく、学習や対人不安、家族の問題であったりする場合も少なくありません。養護教諭には、職種の特長や視点を活かしてアセスメントすることが求められます。また、アセスメントの結果を、どのように発信してチーム支援に生かすのか、実践例を参考に、演習を通して研修します。	小玉 有子(弘前医療福祉大学 保健学部教授)
14	選択必修 または選択	ネットいじめ・SNS問題の現状と対応策	近年、複雑化深刻化しているネットやスマホ問題、携帯やLINEトラブル、ネットいじめ等、学校現場で起こっている様々なSNSに關係した生徒指導上の問題に特化した内容を講義します。現状の理解、未然防止策に加え、トラブルが起こってしまった場合の解決のあり方を具体的な事例紹介しながら学んでいきます。	金山 健一(神戸親和女子大学大学院 文学研究科教授)
15	選択必修 または選択	学びが育つ協同学習の理論と実践 —UDL(学びのユニバーサルデザイン)の視点を踏まえて	協同学習では、主体的・対話的な深い学びを実現し、学力向上や学びの質の向上に効果が実証されています。心理教育と授業づくりの視点から、子どものコミュニケーションを促進する協同学習の授業づくりについて分かり易く解説します。また、すべての子どもが安心して学べるUDLを取り入れ、基礎的環境整備や子どもの理解と支援方策などについても演習を通して実践的に学べます。	金山 健一(神戸親和女子大学大学院 文学研究科教授)
16	選択必修 または選択	すべての子どもが学べる教室に—子どものアセスメントとUDL—	障害者差別解消法施行により、合理的配慮の提供は教育現場でも義務となりました。本講座では、「合理的配慮」とは何か、何のためにするのかをわかりやすく解説します。その上で、様々な事例を通して、子どもの成長を支援するために必要な合理的配慮のあり方や教育実践を紹介いたします。また、基礎的環境整備や子ども理解の方法等も交えた内容を、教職経験があり、現場の実態に即してわかりやすいと定評のある講師が講演します。	高橋 あつ子(早稲田大学 教職大学院教授)
17	選択必修 または選択	豊かな感情と社会性を育む学習	学級の中で気になる子どもについて聞くと、必ず感情のコントロールが未熟だったり、自己中心的な視点で行動したりする子どもの話題があります。その一方で我慢することを求めるだけで、他に方策を持って悩んでいる教師も多くいます。本講座は、感情の発達、感情理解や感情表現、そして社会的な判断力などをどのように育てていくかを体験的に学びます。	高橋 あつ子(早稲田大学 教職大学院教授)
18	選択必修 または選択	学びのユニバーサルデザイン	「主体的・対話的で深い学び」が求められる今日、学習者自らが自分に合った学び方を選んで学んでいく教室が「学びのユニバーサルデザイン(UDL)」では実現できます。教室には多様な学び方の学習者がいること、一斉指導では学びの障壁が生じることを体験すること等を通じて、アクティブラーニングである多様な学びを提供していく実践の在り方、授業改善の方法を学んでいきます。	高橋 あつ子(早稲田大学 教職大学院教授)
19	選択必修 または選択	特別支援教育の視点を活かした生徒指導	特別支援教育と教育相談・生徒指導の関係を解説します。特別支援の視点をベースに、子どもの理解の方法、個別の教育的ニーズの把握の仕方について学び、生徒指導に活かしていきます。また、様々な事例を通して、子どもの成長を支援するために必要な、環境整備や合理的配慮など具体的な支援の方策、個別の指導計画作成についても演習を通して学びます。	高橋 あつ子(早稲田大学 教職大学院教授)

※2021年1～3月期も開講予定です。

※2021年1月31日までに教員免許状更新申請が必要な方は、2020年12月末までにご受講をお済ませください。

## <2020年4～8月期eラーニング式講習 大好評につき申込延長決定！>

### 大好評につき教員免許状更新講習(eラーニング式講習)の申し込み延長決定いたしました！

◆教員免許の更新に必要な講座を取れ切れていない方 ◆「忙しいけど、夏休み中に1講座でも多く取ってみたい」方におすすめです。

<WEB申込期間>7/1(水)～7/26(日) 17:00まで

<受講申込書提出>8/3(月) 必着(受講申込書受理後、振込票を送付いたします。受講料の入金確認ができ次第、eラーニング式講習の受講開始となります。)

<修了認定試験日>8/30(日) (郵送による自宅受験となります。)

※すでに受講しており、さらに講座を追加したい場合、新規申し込みをお願いいたします。

※期限までにお申込みいただいた全ての講座の受講と修了認定試験が完了しないと、認定できません。

#### 【目的別おすすめテーマ】

- こども園・幼稚園の先生方おすすめ
- 特別支援教育に関心のある方おすすめ
- 生徒指導・教育相談全般に関心のある方おすすめ
- 専門的に学びたい方おすすめ